

10月のことば

正しい心① ～ 「天に従う」

遠景に山を眺めて草木の色が「装^{よそお}う」という形に見えると、秋の山（「笑」という形に見えると春山）。四季は必ず巡り、正確に天の動き・地の動きを繰り返す、人間・動物・草木に至る万物は、この自然の法則に従って生活し、発展しています。

山登り等で、この自然（天）の法則に逆らう行動をとれば事故を起こし、最悪は生命を落としてしまいます。

同じく、実生活においても天が定めたルール（衣・食・住・行動）を外すと、事故・病気・社会から淘汰^{とうた}されて、生きるすべを失ったり、生命を落とす事にもつながります。

1、言語考察

朝の来ない夜はない…

- ・天のルールの事を「天道」、地のルールの事を「地理[×]（道）」という。
- ・「天道地理」より「道理」という言葉が生まれる。
- ・人間にも道理にかなった人としてのルール有。これを「義（道義）」という。
これが人の道なり。

2、古典考察

…「誠は天の道なり。之^{これ}を誠^{まこと}にするは、人の道なり」（中庸^{ちゅうよう}）

- ・天は嘘をつかず、よって人も天の道に素直に合わせ、誠でなければならず。
- ・「誠」とは、自分にとっても他人にとっても嘘^{うそいつわ}偽りのない心のこと。つまり真心^{まごころ}。

「人の道」とは、私利私欲^{しりしよく}や自分にとって都合がいいからといってつくった道ではありません。天の道（誠）を守って努力する事です。

人の道を踏み外す者は滅び、人の道を歩む者は栄える。
これが自然（天）の法則です。